



つくろう 災害に強いまちー石内北ー



こころ石内北



令和6年度 佐伯区総合防災訓練



自治会一斉メールによる避難指示

【訓練】地震への警戒について(訓練メール)

こころ石内北自治会の皆さまへ

8月25日

※これは訓練メールです。令和6年8月25日(日)8:00五日市断層を震源とした地震により広島市に震度6強の地震(訓練)が発生しました。各自でシェイクアウト訓練(まず低く、頭を守り、動かない)を実施後、佐伯区総合防災訓練に参加される方は、身支度をして近くの公園に集まって、9時までに石内北小学校に移動してください。移動時は事故及び熱中症等に十分注意してください。石内北自主防災会(自治会)役員は、避難所となる小学校持ち場について住民を受け入れる準備を開始してください。訓練に参加されない方は、事前に自治会から配布されている無事を意味するタオルを各自宅玄関ドアに掛けてください。これは訓練ですので、実際に最寄りの施設に避難しないようお願いします(会長 木村)。※これは訓練メールです。

無事ですタオルの配布・活用

玄関先に安否を知らせるタオルを掛ける住民



玄関先に「無事」タオル

佐伯の石内北地区 防災訓練で試行

広島市佐伯区の石内北地区で25日、地震発生を想定した訓練があった。

住民が避難する際にタオルを玄関先に掛けておく取り組みを実施。速やかに安否確認をする目的で2018年の西日本豪雨で被災した倉敷市真備町の活動を参考にした。

震度6強の地震が朝方に起きたと想定。住民たちは玄関のドアノブなどに「無事です」と書かれた黄地のタオルを掛けてから、指定避難所の石内北小に向かった。体育館では、身近な道具で救護

者を運ぶ方法などを紹介する講習会もあった。

訓練は、こころ石内北自治会自主防災会などが主催。木村正信会長(70)は「災害時に通信手段が途絶えた場合にアナログな手法が役立つ。地域ぐるみで非常時への備えを進めたい」と語った。

また家族3人で参加した会社員多々良冬海さん(41)は「必要ないと思っただけだが、子どもの退屈しのぎになることも教わった。備蓄品を点検したい」と話した。

(伊藤友二)

木村会長のお話



石内北自主防災会作成 防災マップ

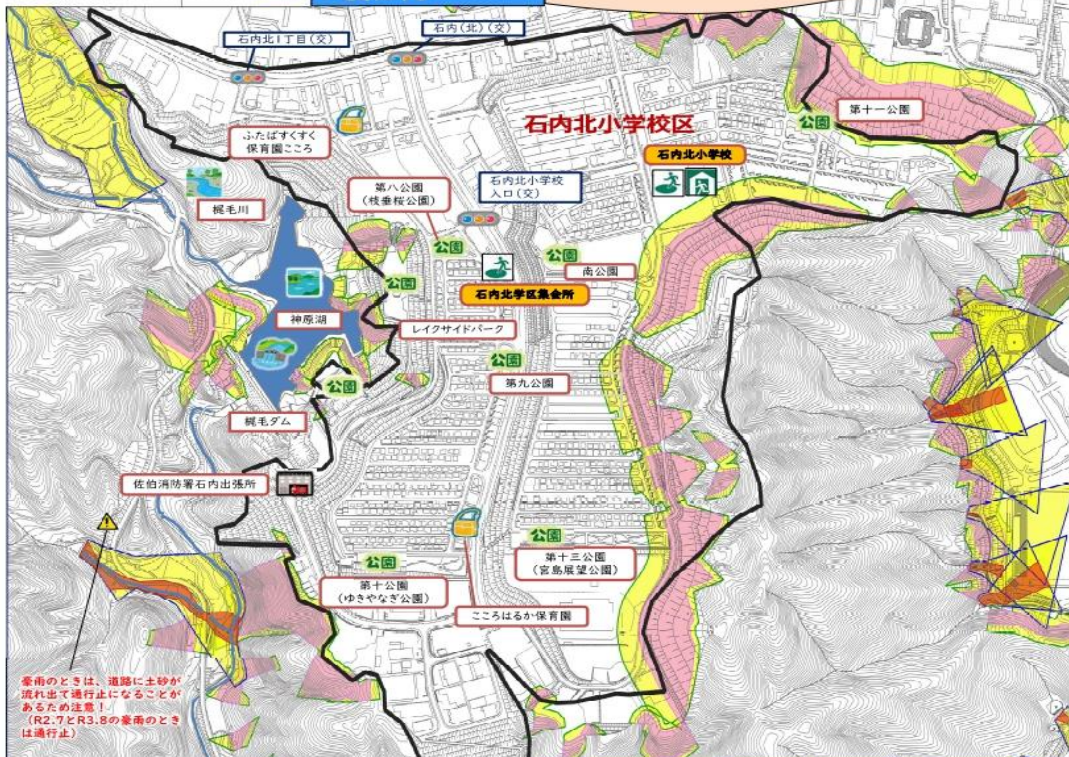
石内北学区防災マップ

保存版

こころ石内北自治会自主防災会
令和5年3月作成

土砂災害の凡例		がけ崩れの前兆現象には次のようなものがあります。 ● がけにひび割れができる ● 小石がバンプと落ちてくる ● 水から水が湧き出る ● 湧き水が止まる・濁る ● 地鳴りがする
土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) 建築物が破壊され、住民等の生命又は財産に重大な被害が生じるおそれがある区域	がけ崩れ  土石流 	
土砂災害警戒区域 (イエローゾーン) 土砂災害のおそれがある区域	がけ崩れ  土石流 	

防災情報（避難情報、気象情報、土砂災害警戒情報）の意味や入手方法をあらかじめ確認し、いざというときのために避難のタイミングを検討しておきましょう。避難指示などの避難情報は、このマップに示す土砂災害警戒区域を対象として発令されることに留意してください。



豪雨のときは
流れ出て通行
あるため注意
(R2.7とR3
は通行止)

記号	種 別	施 設	特 記
	指定避難所 災害により生活の場所を失った方の臨時的な宿泊・滞在施設	石内北小学校	

防災情報の入手・避難のタイミングの検討

※ 土砂災害の発生が差し迫った場合、土砂災害警戒区域に居住されている方に対して、広島市から避難指示等【警戒レベル3から5】の避難に関する情報が発令されます。(降雨量などから、災害が発生する危険度に応じて段階的に発令されます。)

警戒 レベル	情報 状況	取るべき行動
レベル1 早期注意 情報	気象状況 悪化の恐れ	災害への心構えを高める！ 
レベル2 大雨・洪水・ 高潮注意報	気象状況 悪化	危険な場所、避難場所、 避難経路の確認！ 
レベル3 高齢者等 避難	災害の 恐れあり	避難に時間がかかる人は、 危険な場所から避難！ 警戒
レベル4 避難指示	災害の恐れ 高い	非常持出品を持って、危険な場所 から全員避難！ 
レベル5 緊急 安全確保	災害発生・ 切迫	屋外への避難ができない場合には、 屋内の高いところに緊急避難！

警戒レベル4までに
必ず避難!!

地震に備える

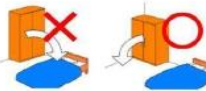
地震が起きたとき、家の中にはケガの原因や避難の妨げになるものがたくさんあるため、注意が必要です。
また、避難の際に必要な非常持ち出し品の準備や、安否確認方法などについて、家族で話し合っておきましょう。

家具・家電の固定



L字金具などで

家具の配置換え



家具の転倒方向と就寝位置
が重ならないように

非常持ち出し品の準備

避難経路の確保



出入口の周辺は

家庭内備蓄



最低3日分(できれば1週間分)の飲料水や食料品を

家族會議

避難の心得

1. 自らの命は自分で守りましょう！（自助）

避難のタイミングは、人それぞれです。緊急時は、避難情報や周囲の状況を確認し、自らの判断で適切に避難しましょう。

2. 非常持ち出し品を準備しておきましょう

緊急に避難をしなければならない場合に備えて、避難の際にすぐ持ち出すことができるよう、必要なものをリュックなどに入れて、玄関の近くに用意しておきましょう。

☐スマートフォン ☐非常食 ☐水 ☐ヘッドライト・電池 ☐衣類
☐生活用品 ☐常備薬 ☐雨具 ☐現金 ☐貴重品 など

3. 早めに避難する

身の危険を感じた場合は、避難指示などの避難情報を待たず、自主的に避難を開始しましょう。特に、避難経路上に警戒区域などがある場合は、早めの避難が必要です。

4. 隣近所に声をかけましょう(共助)

避難時には、隣近所に声をかけ、一緒に避難しましょう。

情報の入手

◎ 広島市防災情報メール
登録用メールアドレスから空メール送信後、届いた返信メールから登録を進めてください。

避難者178名



訓練参加者によるシェイクアウト訓練



住民が参加する体験型訓練



寢床スペース作成ブース



避難者受付訓練ブース



救出訓練ブース



食事スペース作成ブース



洗濯スペース作成ブース



消防団による救急訓練



防災士による初期消火体験ブース



自然災害VR体験コーナー



地震体験車



降雨体験機



TVでの紹介

9月2日放送



若者世代を取り込んだまちづくり

The image shows the exterior of a modern, light-colored building, identified as the Ishino Kita Ward Community Center. A wide ramp with metal handrails leads to the entrance. To the left of the entrance, there is a bank of grey mailboxes. A sign above the entrance reads "石内北学区集会所". A large white downspout is visible on the right side of the building. The sky is clear and blue.

住民全員でつくる安全なまちー石内北ー

石内北学区集会所

ご清聴ありがとうございました。